

一般社団法人日本粘土学会 2023 年度第 2 回常務委員会議事録

日 時：令和 5 年 1 月 21 日（土）13:00～14:55

会 場：国際文献社パブリッシングセンター8 階会議室および Zoom 会場

出席者：常務委員(15 名)：川俣 純、日比野俊行、鈴木正哉、蛭名武雄、伊藤健一、
亀島欣一、笹井 亮、佐久間博、地下まゆみ、手束聡子、中戸晃之、森本和也、横
山信吾、渡邊雄二郎、鈴木憲子

欠席者(1 名)：小口千明

監事(2 名)：志々目正高、高木哲一

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 16 名の過半数 8 名

出席常務委員 15 名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 2023 年度事業中間報告（資料 1、2）

各担当委員より、資料をもとに報告があった。会員資格停止解除者（別資料）について事務局川島さんから、前年度に会費 2 年滞納であったが入金があったので、解除となったことが説明された。手束庶務委員より、会員資格喪失者（4 名）と会員資格停止者（2 名）について説明があり、理事会に諮ることとした。また、提示された（別資料）会費未納者に関係者がいたら声かけをして欲しいとの要請があった。

2. 2023 年度会計中間報告（資料 3）

伊藤会計委員より資料をもとに説明があった。現在銀行口座は 3 つであるが、三菱 UFJ 銀行は利用しなくなっているため、解約するとして理事会の承認をとることとした。

3. 収支健全化に向けた WG 答申について（資料 4～7）

日比野委員より資料をもとに報告があった。雑誌保管経費の削減について、何冊残すのが適当かという質問に対し伊藤会計委員より、予備を含めて 2 冊が良いのでは無いかという回答があった。また伊藤会計委員より、理事数の削減について、常務委員数が変わらなければ業務内容への影響は無い。経費削減の面から見ると常務委員数を減らした方が良いが、現在はハイブリッド会議となっているので、遠方の委員がオンラインで参加しており、その効果も少ないとの報告があった。

雑誌発行経費の削減について、WG ではデジタル化について編集委員長間で議論してはどうかという意見が出された。中戸 Clay Science 編集委員長より、これ以上の削減はデジタル化しかかえがえられない。しかし、粘土科学は情報誌としての性質もあるので、深く考える必要がある。それは編集委員長 2 名の検討では難しいとの意見が出された。横山粘土科学編集委員長より、全部デジタル化は直ぐには難しいと思うが、年 3 刊を 2 刊にすることは可能かもしれないとの意見が出された。川俣会長より一度編集委員会で議論して、どの号を削減するかなどについて、次回の理事会で提案して欲しいとの要請があった。

議論の結果、以下を理事会で諮ることとした。

- ・学術振興基金積立は今後の記念行事を鑑み 500 万円を目標とする。
- ・会費の値上げは会員数から考えてあまり効果がないので、行わない。

- ・学会誌の保管費削減のため、発行後1年を過ぎたものは2冊とする。
- ・会員数と照らし合わせて、理事数を20名に減らす。ただし業務への影響をみて再考する。理事の再任制限を撤廃する。

4. 期末に入会する学生の取り扱いについて（資料8）

事務局川島さんから資料をもとに説明があった。資料の1～3までは前回の理事会で説明済みなので、理事会では4の提案について諮ることとした。

5. 粘土科学討論会申し合わせについて（資料9）

蛭名常務委員長より資料をもとに説明があった。現地実行委員会が動きやすいように、また時代に合うように改訂したもので、提案通りに理事会に諮ることとした。

6. CMS-Asian Clay 合同会議の現状報告（資料10）

川侯会長より資料をもとに説明があった。日本からの実行委員には、他の国のトップが委員になっていないのを考慮して、佐藤前常務委員長と蛭名常務委員長に就任してもらった。

予算について、具体的なものはまだ提示されていないが、赤字の見込みは最大で日本円で50万円くらいとのことであった。50万円までのデポジットはすでに前回の理事会で承認されているが、50万円を超えるデポジットが事前に必要になった場合はその都度協議するという条件をつけてMOUにサインすることが提案された。

以上、審議の上承認された。

以下については時間の関係で、理事会で審議することになった。

7. 粘土科学討論会

(1) 第65回粘土科学討論会会計報告（資料11）

(2) 第66回粘土科学討論会について

(a) 第66回粘土科学討論会実施計画（資料12）

蛭名常務委員長から第67回粘土科学討論会について、九州工業大学の中戸委員を実行委員長に開催してはどうかという提案があり、快諾された。また、中戸委員の挨拶があった。

(b) 第6回粘土科学討論会シンポジウム実施計画（資料13）

以下報告事項についても、理事会での報告とすることとなった。

報告事項

1. Clay Science トレース費用について（資料14）

「粘土科学」文献情報のAGROPEDIAでの公開について。

2. その他

資料15：日本地球惑星科学連合 臨時学協会長会議報告

資料16：名誉会員リスト

資料17：2023年度常務委員一覧

令和5年1月23日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 蛭名武雄 ㊞

監 事 志々目 正高 ㊞

監 事 高木哲一 ㊞